

2022年3月期中間期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2022年3月期中間期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間 連結会計期間 (2021年9月30日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	4,754,992	5,127,102
資本金等	696,016	911,021
価格変動準備金	109,013	112,094
危険準備金	6,623	6,868
異常危険準備金	981,590	1,023,609
一般貸倒引当金	2,541	2,318
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,258,883	2,324,955
土地の含み損益	258,223	255,200
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 20,203	△ 18,586
保険料積立金等余剰部分	—	—
負債性資本調達手段等	200,000	200,000
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	—	—
控除項目	142,571	160,791
その他	404,874	470,413
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2 + R_2^2} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,247,513	1,346,348
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	359,736	378,272
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	15,825	17,094
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	38,053	41,626
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	—	—
予定利率リスク(R ₅)	17,226	16,855
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	—	—
資産運用リスク(R ₇)	846,605	913,003
経営管理リスク(R ₈)	30,858	33,191
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	265,486	292,726
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	762.3%	761.6%

(注) 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条の2および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

以上